

## 平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月8日

上場取引所 東

上場会社名 北越メタル株式会社

コード番号 5446 URL <http://www.hokume.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 栗原 頼幸

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務本部長

(氏名) 米山 克巳

TEL 0258-24-5111

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	14,698	△38.1	1,762	17.4	1,755	18.0	888	8.9
21年3月期第3四半期	23,737	—	1,501	—	1,487	—	816	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	44.63	—
21年3月期第3四半期	40.97	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	24,647	14,148	57.4	710.32
21年3月期	24,197	13,612	56.3	683.39

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 14,148百万円 21年3月期 13,612百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	3.00	—	10.00	13.00
22年3月期	—	5.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

(注) 平成22年3月期の期末の1株当たり配当予想につきましては、現段階では未定であります。

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,410	△36.4	1,490	△23.5	1,480	△23.1	670	△16.3	33.64

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 19,970,000株 21年3月期 19,970,000株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 51,897株 21年3月期 51,376株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 19,918,317株 21年3月期第3四半期 19,926,883株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 平成21年11月4日に公表いたしました連結業績予想は、本資料において修正しております。  
詳細につきましては、本日開示しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。  
なお、期末の1株当たり配当予想につきましては、通期の業績見込みが明らかとなった時点で改めて公表いたします。
2. 業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。  
従って、今後の主原料である鉄スクラップ価格や鋼材市況等の変動により、業績予想値が変わる可能性があります。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策などにより、一部に回復の兆しは見られるものの、雇用不安や企業の設備投資の抑制に加え、デフレ状況が進行するなど、依然として厳しい状況が続いております。

当社グループの関連業界においても、このような経済環境の影響を受け、政権交代による公共投資の見直しや民間設備投資の落ち込みなどにより、鋼材需要は減少しました。

その結果、当連結グループにおける売上高は、製品販売価格の下落が大きく影響したことなどから、14,698百万円（前年同四半期比38.1%減）となりました。

収益面では、製品販売価格の下落があったものの、主原料である鉄スクラップ価格の下落に加え、副原料価格が安価になったことなどから、経常利益は1,755百万円（前年同四半期1,487百万円の経常利益）、四半期純利益は888百万円（前年同四半期816百万円の四半期純利益）となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

## (1) 資産、負債及び純資産の状況

## ① 資産

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ450百万円増加して、24,647百万円となりました。

これは主に、減価償却費の計上等による有形固定資産の減少（前連結会計年度末比228百万円の減少）等により、固定資産が前連結会計年度末に比べ285百万円減少して、9,908百万円になったものの、現金及び預金の増加（前連結会計年度末比843百万円の増加）等により、流動資産が前連結会計年度末に比べ735百万円増加して、14,738百万円になったことによるものであります。

## ② 負債

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ85百万円減少して、10,499百万円となりました。

これは主に、支払手形及び買掛金の増加（前連結会計年度末比1,178百万円の増加）等により、流動負債が前連結会計年度末に比べ421百万円増加して、8,431百万円になったものの、長期借入金の減少（前連結会計年度末比435百万円の減少）等により、固定負債が前連結会計年度末に比べ507百万円減少して、2,068百万円になったことによるものであります。

## ③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ535百万円増加して、14,148百万円となりました。

これは主に、四半期純利益888百万円を計上したこと等によるものであります。

また、自己資本比率については、前連結会計年度末の56.3%から1.1ポイント増加して、当第3四半期連結会計期間末には57.4%となりました。

## (2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、5,620百万円となり、前連結会計年度末に比べ844百万円（17.7%）増加しました。各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

## （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間における営業活動による資金は、2,398百万円の増加（前年同四半期比1,342百万円の増加）となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益1,621百万円、仕入債務の増加1,178百万円、減価償却費716百万円、売上債権の減少530百万円であり、支出の主な内訳は、法人税等の支払い1,143百万円、たな卸資産の増加368百万円であります。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間における投資活動による資金は、589百万円の減少（前年同四半期比138百万円の減少）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出567百万円等によるものであります。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間における財務活動による資金は、964百万円の減少（前年同四半期比1,788百万円の減少）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出584百万円、配当金の支払額278百万円等によるものであります。

## 3. 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、前予想（平成21年11月4日）から修正しております。

詳細につきましては、本日開示しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、期末の1株当たり配当予想につきましては、通期の業績見込みが明らかとなった時点で改めて公表いたします。

## 4. その他

## (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

## (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

## ①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

## ②棚卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額等を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

## ③固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の年度中の取得、売却又は除却等の見積りを考慮した予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法によっております。なお、定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

## ④経過勘定項目の算定方法

固定費的な要素が大きく、予算と実績の差異が僅少のものについては、合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

## ⑤法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

## (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,741,435	4,898,146
受取手形及び売掛金	5,998,451	6,526,768
有価証券	10,934	—
商品及び製品	1,692,495	1,346,853
仕掛品	57,108	57,424
原材料及び貯蔵品	1,047,926	1,024,851
繰延税金資産	139,497	153,867
その他	87,294	18,133
貸倒引当金	△36,189	△22,629
流動資産合計	14,738,955	14,003,416
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,826,556	7,805,692
減価償却累計額	△4,634,484	△4,494,321
建物及び構築物(純額)	3,192,071	3,311,371
機械装置及び運搬具	18,637,319	18,352,680
減価償却累計額	△15,298,947	△15,147,960
機械装置及び運搬具(純額)	3,338,372	3,204,719
工具、器具及び備品	1,804,812	1,753,013
減価償却累計額	△1,457,631	△1,370,599
工具、器具及び備品(純額)	347,180	382,413
土地	1,754,675	1,858,266
リース資産	14,688	—
減価償却累計額	△816	—
リース資産(純額)	13,872	—
建設仮勘定	470	118,203
有形固定資産合計	8,646,642	8,874,975
無形固定資産		
ソフトウェア	16,757	13,113
その他	3,737	3,805
無形固定資産合計	20,495	16,919
投資その他の資産		
投資有価証券	834,746	935,419
繰延税金資産	349,486	314,181
その他	70,181	66,272
貸倒引当金	△12,940	△13,840
投資その他の資産合計	1,241,473	1,302,032
固定資産合計	9,908,611	10,193,927
資産合計	24,647,566	24,197,343

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,165,194	3,986,843
短期借入金	2,289,336	2,538,980
未払法人税等	354,364	762,197
その他	622,139	721,258
流動負債合計	8,431,034	8,009,279
固定負債		
長期借入金	1,249,583	1,684,886
退職給付引当金	527,563	771,318
役員退職慰労引当金	132,520	119,613
その他	158,727	—
固定負債合計	2,068,394	2,575,817
負債合計	10,499,429	10,585,097
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,969,269	1,969,269
資本剰余金	1,399,606	1,399,606
利益剰余金	10,836,225	10,246,033
自己株式	△14,549	△14,432
株主資本合計	14,190,552	13,600,478
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△42,415	11,768
評価・換算差額等合計	△42,415	11,768
純資産合計	14,148,136	13,612,246
負債純資産合計	24,647,566	24,197,343

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	23,737,082	14,698,835
売上原価	20,469,067	11,418,061
売上総利益	3,268,014	3,280,773
販売費及び一般管理費	1,766,629	1,517,988
営業利益	1,501,385	1,762,784
営業外収益		
受取利息	4,047	1,420
受取配当金	26,215	25,914
持分法による投資利益	8,273	—
受取賃貸料	7,896	6,100
助成金収入	—	25,919
その他	13,221	6,105
営業外収益合計	59,655	65,460
営業外費用		
支払利息	53,593	47,021
持分法による投資損失	—	10,769
手形売却損	3,969	1,139
その他	16,001	14,091
営業外費用合計	73,565	73,021
経常利益	1,487,475	1,755,223
特別利益		
前期損益修正益	45,204	—
固定資産売却益	1,434	—
貸倒引当金戻入額	180	1,668
その他	1	—
特別利益合計	46,819	1,668
特別損失		
固定資産売却損	1,185	40
減損損失	128	103,590
固定資産除却損	13,106	20,106
投資有価証券評価損	2,273	—
退職給付費用	—	11,036
その他	—	363
特別損失合計	16,693	135,139
税金等調整前四半期純利益	1,517,601	1,621,753
法人税等	701,254	732,784
四半期純利益	816,346	888,968

## (3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,517,601	1,621,753
減価償却費	693,393	716,109
減損損失	128	103,590
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△2,441	△254,791
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△24,498	12,907
貸倒引当金の増減額(△は減少)	19,029	12,660
受取利息及び受取配当金	△30,262	△27,335
支払利息	57,563	48,161
持分法による投資損益(△は益)	△8,273	10,769
有形固定資産売却損益(△は益)	△248	40
有形固定資産除却損	13,106	20,106
売上債権の増減額(△は増加)	△1,775,013	530,117
たな卸資産の増減額(△は増加)	396,386	△368,401
仕入債務の増減額(△は減少)	413,664	1,178,350
前期損益修正損益(△は益)	△45,204	—
退職給付費用	—	11,036
その他	△19,862	△54,324
小計	1,205,067	3,560,751
利息及び配当金の受取額	33,015	27,890
利息の支払額	△60,894	△46,665
法人税等の支払額	△121,449	△1,143,760
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,055,740	2,398,215
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△14,500	△4,000
定期預金の払戻による収入	53,000	5,500
有価証券の取得による支出	—	△11,016
有形固定資産の取得による支出	△476,344	△567,429
有形固定資産の売却による収入	3,395	815
無形固定資産の取得による支出	△11,780	△7,122
投資有価証券の取得による支出	△140	△136
投資その他の資産の増減額(△は増加)	△4,016	△5,763
投資活動によるキャッシュ・フロー	△450,385	△589,151
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△138,809	△100,000
長期借入れによる収入	2,180,000	—
長期借入金の返済による支出	△627,466	△584,947
社債の償還による支出	△480,000	—
自己株式の取得による支出	△1,921	△117
配当金の支払額	△107,751	△278,394
リース債務の返済による支出	—	△816
財務活動によるキャッシュ・フロー	824,051	△964,274
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,429,406	844,789
現金及び現金同等物の期首残高	2,849,752	4,776,046
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,279,159	5,620,835



(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。